〔記録〕H29　外来種防除作業 in 奥産道　2017(H29)/08/22

Photo by Hiroaki-Abe

対　象　：　①オオハンゴンソウ、 ②アラゲハンゴンソウ、 ③セイヨウタンポポ
日　時　：　2017(H29)/08/22（火）　9：00～10:40頃
場　所：　雫石町の通称「奥産道路」（県道雫石東八幡平線）
主　催　：　環境省盛岡管理官事務所
参加者　：　総勢20名、 うち岩手山地区PV12名
　　参加団体：岩手山地区PV、盛岡地方振興局土木部、雫石町、巡視員
作業方法：　抜取り（①、②、③の一部）、薬剤塗布（③のうち抜取り不可のもの）
駆除数　：　①481株（成203株、幼278株）、②約70株（成幼合計）、③（不計数）
　　〔参考：①H28実績1,086株（成106、幼980）、H27実績2,885株（成1,506、幼1,379）、H26実績不詳（不計数？）〕
作業時間等：オオハンゴンソウ駆除現地作業時間帯10:05頃～ 10:35頃までの約30分間（雷雨のため途中で中止）

作業開始前、参加者全員

開会セレモニー

工藤ＡＲから作業手順等の説明
県立大渋谷教授もＰＶとして参加

【奥産道路工事中断現場の確認】

トンネル工事予定だった場所

同左から奥産道改築済み先端を見る

トンネル計画付近脇に刈払いの通路があった
タケノコ採りの所業？（長さ約20m）

〔記録〕 H29 外来種防除作業 in 奥産道 2017(H29)/08/22

Photo by Hiroaki-Abe

【アラゲハンゴンソウの駆除】

〔参考〕

アラゲハンゴンソウ（キク科オオハンゴンソウ属）

北米原産の帰化植物で別名「キヌガサギク」

日本へは大正時代に観賞用として渡来
昭和初期に北海道や東北地方で野生化が始まり
現在では関東から四国にかけて帰化している。
その繁殖力はすさまじいものがある。

「みんなの花図鑑」より

特定外来植物ではないが、在来植生に悪影響が懸念されるので駆除した
場所は前頁の道路改築済区間終点付近。分布一か所だけ、早期に発見し駆除出来たのは幸いだった

【セイヨウタンポポの駆除等】

〔作業方法〕
- 抜取り可能なものは抜取り
- 不可能なものは葉や茎に薬剤塗布

薬剤塗布した直後の株
（作業後降雨があったので
効果が気になる）

【オオハンゴンソウ駆除等】

〔作業方法〕　全て抜取りし，ビニール袋に収納して焼却処理
根を残すと再生するので、根まで完全に抜き取るよう努力

保護官とＡＲも率先して作業

積み込み完了